



## 会長あいさつ

いわき平ロータリークラブ  
会長 山野辺 倉 平

いわき平ロータリークラブは、本年6月をもって創立60周年を迎える事が出来ました。当クラブは、東京、郡山両ロータリークラブをスポンサークラブとして、1953年6月29日に国際ロータリー本部より加盟承認をされ県内4番目のクラブとして会員25名で誕生して以来60年歴史を積み重ね、様々な社会情勢を経て、現在52名のクラブに成長しました。その間、飯島隆俊会員、加藤武久会員、吉田仁会員をガバナーとして、また多くの分区代理、ガバナー補佐、地区委員を輩出できました、そして浜通り9ロータリークラブの設立にスポンサークラブを努めたことも、クラブの誇りとするところでもあります。ここに60周年を迎えるにあたり、クラブ会員は先輩の方々が一年一年積み重ねて来られた、いわき平ロータリークラブの歴史と伝統を次の世代に引き継ぐ責任を改めて強く感じております。私共はこれからも「超我の奉仕」「最も良く奉仕する者が、最も良く報われる」の2大モットーの研鑽と実践を続けて参ります。

30年ぶりに誕生した日本人3人目の本年度田中作次国際ロータリー会長は本年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」とし「超我の奉仕」の実践がロータリーの究極の目的である「世界平和」をもたらすと説いています。

2011年3月11日に東日本を襲った大震災は我々の故郷を破壊しました。それだけに止まらず風評被害をも起しました。震災以来、国際ロータリーをはじめ国内外の多くのロータリアンから寄せられた、まさに「超我の奉仕」の支援に対し感謝すると共にロータリーの素晴らしさを改めて実感致しました。

当地区も本格的な復興が始まりましたが完全復旧には、まだまだ多くの年月を要します。これからも地域のニーズに応えた奉仕活動を続けることがロータリアンの責務と考え、地域に根ざした奉仕活動に取り組んで行きたいと考えております。

現在、国内外の街なかで起きている悲惨な事件が度々報道されています。いわき平ロータリークラブでは日頃から安心安全な街づくりも大事な奉仕活動の一つと考えていますので、これらの事件防止のための「防犯カメラの設置」、そして、いわき青年会議所主催、南双葉、浪江青年会議所共催の復興のシンボル「いわき光のさくらまつり」への援助、また、長年の懸念であったクラブホームページの開設を創立60周年の記念事業と致しました。

本日より、いわき平ロータリークラブは60周年を契機に積み重ねられた歴史と伝統を重んじ、次なる70周年に向けて会員一同、力強く前進していくこととお誓い申し上げます。

むすびに、新妻純男創立60周年実行委員長はじめ各委員会皆様のご尽力で、記念パーティーが開催され、60周年記念誌が刊行出来たことに、心から感謝申し上げます。